

教育
指導課

新1年生は556人

平成28年度小中学校入学式



初々しい13人の新1年生

比和支所

あけぼの荘でお別れセレモニー

長く愛されたあけぼの荘が建て替え



あけぼの荘の前で

生涯
学習課

将来のトップアスリートをめざして

アスリート（陸上競技）教室が開校



指導者と一緒にランニング

この春、市内の小学校に270人、中学校に286人が入学しました。

13人が入学した高野小学校では、名越睦子校長が「登下校では交通事故などに遭わないように気を付けましょう。また、『あいさつをする・いい返事をする・運動をする・笑顔で仲良くする・お話を聞く』の『あ・い・う・え・お』を頑張る、『学びいっぱい』『笑顔いっぱい』『元気いっぱい』で学校生活を送りま

しょう」とお祝いの言葉を贈りました。

在校生74人を代表して、6年生の藤元奏汰くんが、「皆さんが入学してくるのを楽しみに待っていました。分からないことは何でも聞いてください。これから仲良く、みんなで力を合わせて、楽しい学校生活を送っていきましょう」と述べました。その後全員で「友だちたくさん嬉しいな」と、歓迎の歌「さんぽ」を歌いました。

40年以上、たくさんの人に親しまれてきた比和温泉あけぼの荘が、立て替えのため本年度解体されることになりました。

それを受け3月21日、比和自治振興区主催による「あけぼの荘ありがとうセレモニー」が開催されました。

あけぼの荘を長い間利用してきた地域の方など30人が、建物を取り壊される前にその姿を目に焼き付けようと集まり、今までの「ありがとう」の気持ちを込めて思い出を語り合いました。あけぼの荘で最初に結婚披露宴を行ったという夫婦も、当時を思い出し感慨深そうに建物を見つめていました。



スタートダッシュ

商工
観光課

庄原の逸品「お披露目会」を開催

特産品31品目、料理12メニューを紹介

庄原観光いちばん協議会は3月23日、かんぼの郷庄原で「庄原の逸品お披露目会」を開催し、開発者など115人が出席しました。

このお披露目会は、平成27年度庄原市の逸品づくり事業で新たに開発・ブラッシュアップされた特産品31品目、料理12メニューを、開発した生産者や事業者が、試食などを交えて直接紹介するスタイルで行われました。

出席者は、「庄原ならではの特産品や料理が並んでいて、どれもおいしく、楽しく参加できた」「新たな庄原の食の魅力が増えたので、いろいろな方に紹介していきたい」と話していました。

料理の部でメニューを開発したかんぼの郷庄原の家島慎司支配人は「この事業に参加し、皆さんに楽しんでいただけるメニューを考案できて喜んでいる。新しいメニューをPRし、多くの方に庄原へ訪れてほしい」と意気込んでいました。

協議会では、今回開発・ブラッシュアップ



試食などを交えて特産品や料理を紹介

商工
観光課

比婆道後帝釈国定公園を歩こう

トレッキングガイド「やまなみ山歩」発行

比婆道後帝釈国定公園連携事業実行委員会（※）は、本国定公園の「認知度向上」「新たな来訪者の確保」「周遊促進」を図るため、トレッキングガイド「やまなみ山歩（さんぽ）」を作成しました。

誌面では、比婆山、道後山、吾妻山、船通山、上帝釈、下帝釈のエリアごとの主なトレッキングコースを記載。本国定公園付近の道の駅や宿泊施設など、おすすめめ立ち寄りスポットも紹介しています。A4サイズで、散策の際の持ち歩きにも便利です。

このトレッキングガイドは、関係市町の各観光協会、道の駅などの観光施設で配布します。手に取った観光客は「古事記神話ゆかりの地であり、豊かな自然に恵まれた本国定公園をめぐ



エリアごとに作成した「やまなみ山歩」

比婆道後帝釈国定公園連携事業実行委員会（※）は、本国定公園の「認知度向上」「新たな来訪者の確保」「周遊促進」を図るため、トレッキングガイド「やまなみ山歩（さんぽ）」を作成しました。

誌面では、比婆山、道後山、吾妻山、船通山、上帝釈、下帝釈のエリアごとの主なトレッキングコースを記載。本国定公園付近の道の駅や宿泊施設など、おすすめめ立ち寄りスポットも紹介しています。A4サイズで、散策の際の持ち歩きにも便利です。

このトレッキングガイドは、関係市町の各観光協会、道の駅などの観光施設で配布します。手に取った観光客は「古事記神話ゆかりの地であり、豊かな自然に恵まれた本国定公園をめぐ

る際に、ぜひ活用したい」と話していました。

（※）比婆道後帝釈国定公園の知名度アップや来訪者の増加を目的に、関係する4市町（庄原市、神石高原町、島根県奥出雲町、鳥取県日南町）で構成される実行委員会。